

(別添2)

自己評価及び外部評価結果

作成日

平成 25 年 3 月 29 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2779500640		
法人名	株式会社 ティー・エッチ・アイ		
事業所名	グループホーム 白馬		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府阪南市箱の浦452番地の3		
自己評価作成日	平成25年2月25日	評価結果市町村受理日	平成25年4月21日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	<a href="http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp">http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp</a>
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人エイジコンサーン・ジャパン
所在地	大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟9階
訪問調査日	平成25年3月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>後期高齢者が安心して生活をおくるためには、健康管理・受療支援は欠くことはできない。 高血圧や糖尿病、心疾患などの持病・慢性疾患を管理する「内科・循環器科」はもちろん、脳卒中の再発防止やパーキンソン病を管理する「神経内科」、頻尿・尿路感染症に対応する「泌尿器科」、腰や膝の痛みなどの「整形外科」、また「眼科」「皮膚科」「歯科」などの診療を要する高齢者は多い。 慢性疾患の症状による「不快感」(痛み・だるさなど)が周辺症状を強めたり、また認知症状の進行により自己表現・訴えが困難となっていることで、全身症状の変化に気づくことが遅くなることもある。 現在でも多くの高齢者施設では「内科医の訪問診療」は行われているが、その他の診療科は「家族の責任での受診」に委ねられている。しかし80代90代の利用者家族に受診を頼むことは、大きな家族の負担となるばかりか、複数の診療所や病院が各々投薬や生活指導を行うことで薬や注射の重複が起こるなど、ホームに求められる健康管理とはなりにくい。 当ホームは内科も循環器科も、泌尿器科も、神経内科も、整形外科も、眼科耳鼻科も多数の診療科目を標榜している有床診療所が同一敷地内にあり、「一冊のカルテ」・「一軒の調剤薬局」での健康管理を行っている。また受診にかかる家族の負担を少なくしている。 顔なじみの医師や看護師が訪問をしたり、また入院施設を併設していることで「看護職員との24時間連携」、「早期退院」を一緒に目指すことで、本人にも家族にも「医療面の安心感」を持ってもらっている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>南海本線 箱作・淡輪駅間、第二阪和国道26号線沿いに在る2ユニットのグループホームである。事業主体は、当地の他淡輪でもクリニック及びグループホームを運営している。本ホーム敷地内には第二なぎクリニックが併設され、毎日の健康管理は勿論の事、緊急時に於ける対応や栄養管理に於いての助言等安心して過ごせる体制が整っている。訪問日当日は入居者の明るい顔を拝見出来、日頃の支援が行き届いているのを感じる事が出来た。職員は仕事に対してやり甲斐を持ち、誇りを持って毎日の支援にあたられている。「仕事が楽しい」という感想を聞き、入居者にもその心が伝わっている様に感じた。食事前10分間のストレッチ体操は、毎日の積み重ねで入居者の体調を維持し、管理者(指揮者)の元気な声につられて、入居者の気持ちも明るく元気にさせている様である。今後は、運営推進会議・スタッフ会議や内部研修などを年間計画の中に組み入れ、計画的に遂行される事を期待したい。終末期の支援については過去1名の方を看取った経験を持つが、現在は他施設へ紹介の形を取っている。地域の拠り所としての本ホームが、今後どのようにして入居者・家族の要望に応えていくかが今後の課題と言える。</p>
---